

永青文庫細川家資料の世界とその可能性

2014年11月29日

第4回 熊本大学関西連合同窓会 特別講演
熊本大学文学部附属永青文庫研究センター 稲葉 継陽

はじめに—自己紹介—

- (1) 熊本大学寄託「永青文庫細川家資料」について
代表的な大名家・熊本藩主細川家に伝来した資料群、総数 60,000 点以上と見込まれる
- (2) 「熊本大学文学部附属永青文庫研究センター」について
上記史料群を専門的に研究する組織として 2009 年 4 月に設置

I 16 世紀（「戦国時代」）における団体的社会構造の形成

- (1) 百姓の「家」の成立
家業の形成／家産一体不可分の相続／非血縁者による相続／家名＝苗字 ⇒明治民法の家制度へ
- (2) 村・町共同体の形成
「家」の相互扶助組織たる地縁的身分的団体←村請制、村寄合、村掟による規律⇒現在の地域自治会へ
- (3) 「大名家」の形成
武士領主の「家」が結集し、より大きな「家」の形態をとって創出した領域支配・軍事権力／合議制的性格 ⇒1871 年まで機能

⇒16 世紀は「日本近世」＝「江戸時代」の社会を構成する諸々の身分団体（共同体）の形成期
17 世紀はじめの段階で約 260 の大名家と 60,000 の村が存在、団体分立的なのに長期平和が持続
日本近世における歴史資料は、これら諸団体のもとに蓄積され伝来したもの

II 熊本大学寄託「細川家資料」の概要

- 1、藩主御手元史料群
 - a 中世細川家文書 b 細川家当主親子間書状 c 幕藩関係文書 d 家臣団起請文群
 - e 歴代家譜類 f 一族書状等
 - g 故実関係書、絵巻物、歴代藩主等御筆・絵画類、和歌短冊等
- 2、藩主御手元書籍群
 - a 和書 b 漢籍
- 3、藩政関係史料群
 - a 初期藩主決済文書 b 初期藩主達書群（奉行宛） c 藩政諸部局文書・記録・編纂物
- 4、絵図・指図史料群
 - a 国絵図 b 領内等地図 c 建築図 d 城郭図 e その他
- 5、未整理近世史料群、未整理近代史料群
⇒「1 + 2 + 5 の一部」…「藩侯の資料」、「3 + 4 + 5 の一部」…「藩庁の史料」
「藩侯の資料」…藩主及びその一族の身边に伝来し、大名一族の歴史や文化を語る資料群
「藩庁の史料」…行政組織としての大名家＝藩に蓄積・活用されてきた歴史資料群

III 「細川家資料」の特色

「藩侯の資料」の特殊性／「藩庁の史料」のコンプリートな伝存状況
⇒中世文化の近世への継承、近世的統合の様相を多角的観点から検討しうる「藩侯の資料」
⇒近世初期「藩政」（封建領主制のもとで成立した行政）の特質と変容、18 世紀末以降の藩庁部局制と百姓団体とが対応した行政（地域開発、窮民救済等）の拡大・展開から、近代行政への移行までを、トータルに把握することが可能な歴史資料群として稀有な「藩庁の史料」

おわりに

「日本の近世」＝「江戸時代」の抜本的な再評価の可能性、そのための研究拠点の形成